

## 赤十字紋章

赤十字とってすぐ思い浮かぶのが**スイス**、そして**赤十字社**となるでしょう。**スイス国旗を反転したデザインが赤十字社のマーク**です。

これらスイス、赤十字社もハルマゲドン計画に関係があるか？と言えば、それはイエスでしょう。

スイスが現在のような永世中立国、そしてスイス銀行に見られる不可侵的銀行としての金融中心地になったのは、ウイーン会議によるスイス独立からです。そしてこのウイーン会議を実質として取り仕切っていたのはロスチャイルド家だったのです。**ロスチャイルド家を筆頭とする世界支配層が世界を金融で支配していく、その聖域がスイス**なのです。

また赤十字社について、**赤十字社の創設者はスイスの実業家**です。赤十字社創設の目的についてはまだ詰め切れていません。しかし少なくとも**日本赤十字社については、天皇家のファミリー企業**であるのは紛れもない事実です。

そして天皇家が「**聖婚儀礼**」を行っていたのは**2018年12月5日の竹下さんの記事**で明らかです。この意味で**赤十字社と「聖婚儀礼」は関連**してきます。日本赤十字社にはマスコミなどによってボランティア組織、慈善団体的なイメージが植え付けられています。しかしその実体は全く異なるのです。「日赤の闇」などのワードで検索すれば次々と色々出てくることに驚かれるでしょう。

そして赤十字社と縁の深いWHO（世界保健機関）、これは赤十字のマークではないですが、**WTOの紋章**の中央には蛇の巻きついた杖があしらわれています。この杖は「**ヘルメスの杖**」がそのモデルとなっているでしょう。

ヘルメスは「**性錬金術の祖**」として崇められている存在です。やはり「**性錬金術**」と関連するのです。偶然では無く意図をして「**聖婚儀礼**」「**性錬金術**」の象徴を、つまり**薔薇十字、○十字、赤十字、六芒星などをその紋章としている場合、総合的にはそういった各組織のそれぞれが「ハルマゲドン計画」の一端を担っていたと見て間違い無い**と思えるのです。

(2020/11/5 追記)

このファイルは数年前に作成したもので当時は知らなかったのですが、日本赤十字社は天皇家のファミリー企業としていて、それはそれで間違いはないでしょう。しかしそれ以上に**日本赤十字社は黄龍会に所属**していることが明かされています。つまり**日本赤十字社は天皇家ファミリー企業という以上に「裏天皇家」組織の所属企業**だったのです。